事	<b>森</b> 事	業評	価シー	<b>L</b>	(事後評価	)

07-04-06

施策コード施策名

事業コード事務事業名市民協働推進センターの運営

	協1-2	協働のま	ちづくりの推	進					市民や団体と行政が、 、協働でまちづくりを			
	事務事業	美の目的								根拠法令等		
事	市、市民、市民活動団体等及びこれらのものに関連						はする者との連携のもとに新たな支え合いの仕組み及び地域に □ 法律 □ 条例・規則 □ 政令・省令 ■ 要網・要領					
務事	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する											
業の						·補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する ・・企業・行政等地域における様々な主体と連携して協働を推進することや、新たな						
概		_					は は体的な事業として			_ , , .,		
		参加や団体設立等の相談窓口の開設、各種講座を活用した人材の発掘や育成、市民及び市民活動団体相互のネットワークづくりや協働事業の実施に向けたコーディネート、活動機材の貸出し等の事業も行っている。										
	事業開始	台時期	21	年度	実施形態	ŧ I 🗆	直営 ■ 委託 □	補助 口 その他	1 (	)		
Η	7 7 7 7 7	4-3701	項 目	1/2	JCNE NO NE	単位	20年度	21年度	22年度	23年度		
	事業費(	A)	<u> </u>			十四	13, 810	12, 702	15, 089	14, 992		
		 支出金・ <b>者</b>	 都支出金				0	0	0	0		
	財 地方	債				千円	0	0	0	0		
事業	内: その	内: その他 ( )					0	0	0	0		
費	記 一般	財源					13, 810	12, 702	15, 089	14, 992		
デ	所要人員					人	0.3	0. 3	0.3	0. 3		
タ			給与×(B)			千円	2, 450	2, 424	2, 424	2, 450		
	臨時職員賃金等(C') 総コスト(D)=(A)+(C)+(C')				千円	0	0	17.510	17.440			
				)		千円	16, 260	15, 126	17, 513	17, 442		
	1甲位当ま	- いコスト										
		こりコスト O)/(実施			)	千円	0	540	625	623		
					)	千円 単位	20年度	540	625	623		
		D)/(実施	事業数		実績値							
	(E)=([ ①実施事 ②	D)/(実施 事業数	活動等指標		実績値	単位		21年度	22年度	23年度		
	(E)=(E ①実施事 ② 《指標の	D)/(実施 事業数 D説明・数	事業数 活動等指標 対値変化の理由		実績値	単位件	20年度	21年度 28	22年度 28	23年度 28		
評	(E)=(E ① 実施事 ② 《指標の 人材育质	D)/(実施 事業数 D説明・数 なや意識啓	事業数 活動等指標 対値変化の理由 な発を図る事業	業として	<b>実績値</b> ) `「コミュニ	<b>単位</b> 件 ニティヒ	<b>20年度</b> ごジネス講座」や	21年度 28 「NPO会計講座」	22年度 28	23年度 28		
評価指	(E)=(E ① 実施事 ② 《指標の 人材育质	D)/(実施 事業数 D説明・数 なや意識啓	事業数 活動等指標 女値変化の理由 を発を図る事業 と築く事業とし	業として	<b>実績値</b> ) `「コミュニ	<b>単位</b> 件 ニティヒ	<b>20年度</b> ごジネス講座」や ロン等の事業を実	21年度 28 「NPO会計講座」 ほ施した。	22年度 28 等の講座の実施や	23年度 28 ☆、多様な主体と		
評価指標の	(E)=([ ①実施] ② 《指標の 人材育の のネッ	D)/(実施 事業数 D説明・数 战や意識啓 トワークを	事業数 活動等指標 対値変化の理由 な発を図る事業	業として	<b>実績値</b> ) `「コミュニ	<b>単位</b> 件 ニティヒ	<b>20年度</b> ごジネス講座」や	21年度 28 「NPO会計講座」	22年度 28	23年度 28		
評価指標の設定	(E)=(E ① 実施事 ② 《指標の 人材育质	D)/(実施 事業数 D説明・数 战や意識啓 トワークを	事業数 活動等指標 女値変化の理由 を発を図る事業 と築く事業とし	業として	<b>実績値</b> ) 「コミュニ 懇談会や)	<b>単位</b> 件 ニティヒ トークサ <b>単位</b>	<b>20年度</b> ごジネス講座」や ロン等の事業を実	21年度 28 「NPO会計講座」 E施した。 21年度	22年度 28 等の講座の実施や 22年度	23年度 28 ○、多様な主体と 23年度		
評価指標の設定	(E)=([ ①実施] ② 《指標の 人材育の のネット 一登録	D)/(実施 事業数 D説明・数 対や意識啓 フロクを 団体数	事業数 活動等指標 女値変化の理由 を発を図る事業 と築く事業とし	業として	実績値 「コミュニ 懇談会や」 目標値 実績値 目標値	単位 件 ニティビサ トークサ 単位 団体	<b>20年度</b> ごジネス講座」や ロン等の事業を実	21年度 28 「NPO会計講座」 延施した。 21年度 24	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800	23年度 28 ○、多様な主体と 23年度		
評価指標の設定	(E)=([ ①実施] ② 《指標の 人がネット 一次 二次	D)/(実施 事業数 D説明・数 以や意識啓 トワークを 団体数	事業数 活動等指標 対値変化の理由 を発を図る事業 と築く事業とし 成果指標	業として して企業 	実績値 「コミュニ 懇談会や 目標値 実績値 目標値 実績値	<b>単位</b> 件 ニティクサ 単 団体	<b>20年度</b> ごジネス講座」や ロン等の事業を実	21年度 28 「NPO会計講座」 E施した。 21年度 24 31	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51	23年度 28 ○、多様な主体と 23年度 63		
評価指標の設定	(E)=([ ①実施] ② 《指標の 人のネータニタ 「大のネータース」 「大力を発展」 「大力を表現る 「大力を表現。 「大力を表現る 「大力を表現。 「大力を表現。 「大力を表現。 「大力を表現る 「大力を表現。 「大力を表現。 「大力を表現。 「大力を表現。 「大力を表現る (大力を表現る 大力を 大力を 大力を 力を 大力を 大力を 大力を 大力を 大力を 大力を	D)/(実施 事業数 D説明・数 党やワークを 団体数 量数 D説明・数	事業数 活動等指標 対値変化の理由 対発を図る事業と 対集指標 対値変化の理由	業として して企業 … 由 など》	実績値 「コミュニ 級談会や 目標値 実績値 目標値 実績値	単位       件       ニトー単団団体体       人	20年度 ジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度	21年度 28 「NPO会計講座」 E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988	23年度 28 28 28 23年度 63 2,000		
評価指標の設定	(E)=(C ①実施 ② 《指標の 人の一次 二次 二次 指 間 説 問 記 は は は は は は は は は は り に り に り に り に り に	D)/(実施 事業数 D説明・数略 D説やフロケン 団体数 D説が、数明・数 D記い、と	事業数 活動等指標 対値変化の理時  を発を図る業とし 成果指標 対値変化の理け  ないターを介し	業として して企業 … <b>由 など》</b> して市民	実績値 「コミュニ級談会や」 目標値 実績値 目標値 実績値 に実績値 を表情値	単位       件       ニティクサ       単位       団体       大       引士の弊	20年度 ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度	21年度 28 「NPO会計講座」 E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988	23年度 28 28 23年度 63 2,000		
評価指標の設定	(E)=(C ①実施 ② 《指標の 人の一次 二次 二次 指 間 説 問 記 は は は は は は は は は は り に り に り に り に り に	D)/(実施 事業数 D説明・数略 D説やフロケン 団体数 D説が、数明・数 D記い、と	事業数 活動等指標 対値変化の理時  を発を図る業とし 成果指標 対値変化の理け  ないターを介し	業として して企業  <b>由 など</b> 》 して市民 もとだけで	<b>実績値</b> 「コミュニ系数会や」 目標値 実績値 目標値 実績値 を表情値 を表情値 を表情値	単位       件       ニティクサ       単位       団体       オの繋び	20年度 ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度 ※がりが出てきたた できる事業か	21年度 28 「NPO会計講座」 E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931 こめ、徐々に登録区 38	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて が数も増えてきて	23年度 28 28 23年度 63 2,000 こいる。センター こ思われる。		
評価指標の設定	(E)=(C ①実施 ② 《指材ネッ 一次 二次 《開が実施 が実施	D)/(実施 事業数 D説や意一クを D説や意一クを D説は、数 D説は、数 Dによる事業を	事業数 活動等指標 対値変化の理由 対発を図事業と 成果指標 対値変化の理由 対応変化の理由 対応変化の理由 対応変化の理由 対応変化の理由 に対応する 対応を対応を対応 がある。	業として して企業 	<b>実績値</b> 「コニュニ級会や」 目標値 <b>実績値 実績値</b> 「大きなくを表する。」 「おいます。」 「おいまする。」 「おいます。」 「おいまする。」 「まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	単位       件       ニトー単位       団体       引大       大       財大       日本の繋に       は       か	20年度  ごジネス講座」や トロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた 参加できる事業か らの意見を聞くた	21年度 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  はめ、徐々に登録区 35といため、利用者 25の利用者懇談会を	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて が数も増えていると 開催している。施	23年度 28 28 20 20 23年度 63 2,000 2,000 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		
評価指標の設定	(E)=(C ① (E)=(C ① (E)=(C) (E	D)/(実施 事業数 D説や5 D説や5 D説や5 D説や5 D説や5 D説いる が 数 D記いる サー 数 Dによる サー 数 サー で 数 りこれる サー の に りこれる りこれる りこれる りこれる りこれる りこれる りこれる りこれる	事業数 活動等指標 位変化の理時 発発く事業標 位変化の理時 を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変化の理時 と変化の理時 と変化の理時 と変化のの理時 と変化のの理解 と変化のの理時 と変化のの理解 と変化の変化の変化の変化の と変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変	業として して企業 	<b>実績値</b>   「懇談会や   目標値   実績値   実績値   実績値   実績値   実績値   実績値   実績値   対	単位件ニテー単団は人人の繋に団いて、気体で、	20年度  ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた かの意見を聞くた 夜間利用が出来で	21年度 28 28 「NPO会計講座」 変施した。 21年度 24 31 1,200 1,931 か、徐々に登録区 ぶ多いため、利用者 め利用者懇談会を 使い勝手が良いと	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えていると 開催している。施 言う意見や、印刷	23年度 28 28 28 28 20 20 23年度 63 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		
の設定	(E)=(C ① (E)=(C ① (E)=(C) (E	D)/(実施 事業数 D説や5 D説や5 D説や5 D説や5 D説や5 D説いる が 数 D記いる サー 数 Dこと サー と り と り と り に り に り に り に り に り に り に り	事業数 活動等指標 対値変化の理由 対発を図事業と 成果指標 対値変化の理由 対応変化の理由 対応変化の理由 対応変化の理由 対応変化の理由 に対応する 対応を対応を対応 がある。	業として して企業 	<b>実績値</b>   「懇談会や   目標値   実績値   実績値   実績値   実績値   実績値   実績値   実績値   対	単位件ニテー単団は人人の繋に団いて、気体で、	20年度  ごジネス講座」や トロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた 参加できる事業か らの意見を聞くた	21年度 28 28 「NPO会計講座」 変施した。 21年度 24 31 1,200 1,931 か、徐々に登録区 ぶ多いため、利用者 め利用者懇談会を 使い勝手が良いと	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えていると 開催している。施 言う意見や、印刷	23年度 28 28 28 20 20 20 23年度 63 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		
の設定	(E)=(C ① (E)=(C ① (E)=(C) (E	D)/(実施 事業数 D説や5 D説や5 D説や5 D説や5 D説や5 D説いる が 数 D記いる サー 数 Dこと サー と り と り と り に り に り に り に り に り に り に り	事業数 活動等指標 位変化の理時 発発く事業標 位変化の理時 を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変化の理時 と変化の理時 と変化の理時 と変化のの理時 と変化のの理解 と変化のの理時 と変化のの理解 と変化の変化の変化の変化の と変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変	業として して企業 	実績値 「記談」 「記談」 「は談」 「は談」 「は談」 「は談」 「は談」 「はいます。 「はいます。」 「はいまするます。」 「はいます。」 「はいまするます。」 「はいまするまするます。」 「はいまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	単位     件       テー単団団人人     ま気体でができる。       司が、使	20年度  ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた かの意見を聞くた 夜間利用が出来で	21年度 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  こめ、徐々に登録区 ぶ多いため、利用者 め利用者懇談会を 使い勝手が良いと があるので助かる	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて が数も増えていると 開催している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ	23年度 28 28 28 28 20 20 23年度 63 2,000 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		
	(E)=(C ① (上)	D)/(実施 D) D) D) D) D) D) D) D)	事業数 活動等指標 位変化の理時 発発く事業標 位変化の理時 を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変化の理時 と変化の理時 と変化の理時 と変化のの理時 と変化のの理解 と変化のの理時 と変化のの理解 と変化の変化の変化の変化の と変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変化の変	業として して企業 	<b>実績値</b>   1 表	単件     一件       ニトー単団団人人     コが、団い体       コが、使     市	20年度  ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた 参加できる事業からの意見を聞くた 夜間利用が出来で 用頻度の高い機器	21年度 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  か、徐々に登録区 あいため、利用者 があいため、利用者 があるので助かる は働サロンや調布	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて が数も増えてきる 対数も増えていると 開催している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ	23年度 28 28 28 28 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		
の設定	(E)=(C ① ② 《人の 一次 二次 《開が を 利 指設実 市 ( 内26	D)/(実施 D) 対 (大)	事業数 活動等指標 位値変化の理時 発 (	業として まとて企業 など がまでする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	単位     中       テー単団団人人     コが、団い体       近さ     近さ       市で     で	20年度  ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた 参加できる事業からの意見を聞くた 夜間利用が出来で 用頻度の高い機器 では武蔵野市市民	21年度 28 [NPO会計講座] [施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  - め、徐々に登録に あいため、利用者 あいため、利用者 が多いため、利用者 があるので助かる は協働サロンや調布 に、市民活動団体	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えてきる 対している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ で、アロ等にネッ	23年度 28 28 28 28 23年度 63 2,000 2,0		
の設定           事業環境	(E)=(C ① ② 《人の 一次 二次 《開が を 利 指設実 市 ( 内26	D)/(実施 D) 対 (大)	事業数 活動等指標 位産を図事者標 ののる事と ののの事と を変え、 ののののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 にないが、	業として まとて企業 など がまでする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績   実目実   活な 民内民   □■□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□   □□□□□□	単件二ト単団団人人団い体近さりはたり位体体人小の軽体てが隣れやはたり <th< th=""><th>20年度  ごジネス講座」や ・ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた を動できる事業が らの意見を聞くた では武蔵野市市民 では武蔵野市市民 いて、当市と同様</th><th>21年度 28 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  こめ、徐々に登録区 ありため、利用者 が良いため、利用者 があるので助かる 協働サロンや調布 に、市民活動団体 援等の幅広いサー</th><th>22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えてきる 対している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ で、アロ等にネッ</th><th>23年度 28 28 28 28 23年度 63 2,000 2,0</th></th<>	20年度  ごジネス講座」や ・ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた を動できる事業が らの意見を聞くた では武蔵野市市民 では武蔵野市市民 いて、当市と同様	21年度 28 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  こめ、徐々に登録区 ありため、利用者 が良いため、利用者 があるので助かる 協働サロンや調布 に、市民活動団体 援等の幅広いサー	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えてきる 対している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ で、アロ等にネッ	23年度 28 28 28 28 23年度 63 2,000 2,0		
の設定           事業環境	(E)=(C ① ② 《人の 一次 二次 《開が	D)/( 実施 ) ) ) ) ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	事業数 活動等指標 位産を図事者標 ののる事と ののの事と を変え、 ののののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 にないが、	業として業 お なではいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	実績値 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	単件二ト単団団人人団い体近さりはたり位体体人小の軽体てが隣れやはたり <th< th=""><th>20年度 ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた 参加できる事業が らの意見を聞くた 夜間利用が出来で 相頻度の高い機器 では武蔵野市市民</th><th>21年度 28 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  こめ、徐々に登録区 ありため、利用者 が良いため、利用者 があるので助かる 協働サロンや調布 に、市民活動団体 援等の幅広いサー</th><th>22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えてきる 対している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ で、アロ等にネッ</th><th>23年度 28 28 28 28 23年度 63 2,000 2,0</th></th<>	20年度 ごジネス講座」や ロン等の事業を実 20年度  ※がりが出てきたた 参加できる事業が らの意見を聞くた 夜間利用が出来で 相頻度の高い機器 では武蔵野市市民	21年度 28 28 [NPO会計講座] E施した。 21年度 24 31 1,200 1,931  こめ、徐々に登録区 ありため、利用者 が良いため、利用者 があるので助かる 協働サロンや調布 に、市民活動団体 援等の幅広いサー	22年度 28 等の講座の実施や 22年度 48 51 1,800 1,988 団体数も増えてきて 数も増えてきる 対している。施 言う意見や、印刷 と言った意見もあ で、アロ等にネッ	23年度 28 28 28 28 23年度 63 2,000 2,0		

施策目標

所管部課 生活文化スポーツ部

協働コミュニティ課

事業コード事務事業名市民協働推進センターの運営	所管部課 生活文化スポーツ部
07-04-06	協働コミュニティ課

施策コード施策名	施策目標
協1-2 協働のまちづくりの推進	責任をもって主体的にまちづくりに参画する市民や団体と行政が、お互いに理解を深め、 それぞれの長所を活かしながら力を出し合い、協働でまちづくりを進めることをめざしま す。

## 【一次評価】

÷	7(II IIII I					
	検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等		
	事業の優先度 (緊急性)	2	□拡充	市民主体のまちづくりを行うには、地域の課題に対応する市民の力を高めるとと もに、市と市民活動団体だけではなく、様々な主体の組み合わせによる協働を推進		
А	事業の 必要性	3	■ 継続実施	していくことが重要であり、協働によるまちづくりの拠点としてセンター運営は、 必要である。 実際にセンター主催の事業に参加して共通分野で活動している市民や市民活動[		
	事業主体の 妥当性	2	□ 改善・見直し	体が顔見知りになり、共通分野で地域に貢献できる事業を創り出そうとする動きや 、市民シンポジウムで名刺交換をした市民活動団体や市内企業等とのネットワーク		
	直接のサービス の相手方	2		づくりの動きもある。 また、委託先の西東京社会福祉協議会では、外部評価機関として公募市民等から なる運営委員会を設置しており、毎年事業の振り返りを行い、次年度に実施する事		
В	事業内容等の 適切さ	3	□ 抜本的見直し	業に繋げるための検討を行っている。事業内容は外部評価機関のもと適切に行われており、継続実施とする。		
	受益者負担の 適切さ	2	□休止			
С	市民ニーズの 把握	2	□廃止			
検	検証項目の見方 A∶事業実施の意義を検証する項目 B∶事業の内容・実施方法を検証する項目 C∶市民ニーズの反映度を検証する項目					

## 【二次評価】

	検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
	事業の優先度	2		市民協働推進センターは、協働を推進する拠点として、情報の収集や発信、市民
А	(緊急性)	_	□拡充	及び市民活動団体相互のネットワークづくりを行っているが、徐々に登録団体も増
	事業の	2		えている。利用者懇談会等で聞いた利用者の意見としては、夜間利用ができる点や 印刷機やコピー機等の活動に役立つ機器の存在が評価されているようだ。毎年度、 事業評価をしているようだが、今後も協働のまちづくりの推進について事業の展開
	必要性		   ■ 継続実施	
	事業主体の	2		を図ってもらいたい。
	妥当性		   □ 改善・見直し	
	直接のサービス	2		
	の相手方		─ □ 抜本的見直し	
B	事業内容等の	2		
ľ	適切さ		口休止	
	受益者負担の	2		
	適切さ			
	市民ニーズの	2	カー 口廃止	
١	把握	2		
検	- 証項目の見方 A∶事	業実施の	意義を検証する項目	B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

## 【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
□ 拡充 ■ 継続実施 □ 改善・見直し □ 抜本的見直し	市民協働推進センターは、市民主体のまちづくりを行うための協働推進拠点として、登録団体数も増加傾向にあり、ネットワークづくりの動きもあることから、一定の評価ができる。今後は、センターの目的である市民との協働によるまちづくりの推進が、より具体的な形となって実践されるよう、協働事業の実施に向けたコーディネートを重要な課題と捉え、より意欲的に取り組まれたい。
□ 休止	